



会長 佐々木 源 悦
 幹事 岩 渕 正 彦
 会報 江 川 元 徳 氏 家 良 典
 及 川 勝 永 布 施 孝 尚
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2452回例会 2014. 5. 29 No.46

本日の出席率

・本日の出席率 78%

ニコニコボックス

- ・佐々木源悦会長 第2750地区ローターアクトの表敬訪問に出席の方々ありがとうございました。江川元徳パスト会長のスピーチに期待します。
- ・鈴木彦太会員 江川元徳会員のスピーチ楽しみにご期待を申し上げます。阿部泰彦会員の観光物産協会会長の再任おめでとうございます。ご活躍をご祈念いたします。
- ・山田直志会員 江川元徳会員のスピーチに期待します。阿部泰彦会員の観光物産協会会長の再任を祝します。
- ・猪股育夫会員 江川元徳会員のスピーチお疲れ様です。阿部泰彦会員、登米市観光物産協会会長再任おめでとうございます。健康に留意され益々のご活躍をご祈念致します。本日、早退します。
- ・江川元徳会員 今日、Speechの当番です。よろしくお祈りします。
- ・布施孝之会員 江川元徳会員のスピーチを楽しみに。
- ・佐藤幸一会員 江川元徳会員のスピーチ、最後まで聞けず残念です。
- ・高橋義文会員 本日、江川元徳P・Pのスピーチを楽しみに期待しております。
- ・岩渕正彦幹事以下、江川元徳会員のスピーチに期待。
 村上武彦会員 佐々木崇会員 佐藤敬喜会員
 氏家良典会員 菅原文之会員 佐藤静市会員
 遠藤光則会員 山田正会員 武川毅会員
 岩渕栄市会員 秋山茂夫会員 杉田広仁会員
 以上、ありがとうございました。

会長要件 佐々木源悦会長

本日の夜間例会は、世界大会に参加の会員6名が発されたこともあって出席者が少ないようです。2年間、月1度の夜間例会を開催して参りましたが、出席状況があまり良くないため、次年度の猪股育夫会長は通常例会は昼に戻すということですので、その様にプログラムを組んでいるところです。

5月22日(木)、例会終了後第2750地区のローターアクトクラブが表敬訪問に来るということで臨時理事会をもちました。5月25日(日)、当クラブからは7名の参加をいただき、23名のローターアクトを迎えました。サンシャイン佐沼に12時30分頃到着し、会食をしながら東京日野RCの山下雅弘ローターアクト小委員会委員長、2750地区ローターアクト代表の宮川翼さんの挨拶をいただき、その後メンバーの自己紹介、ローターアクト活動、当クラブからは、阿部泰彦復興支援特別委員会委員長が支援の状況等を報告し、交流をいたしました。

第2750地区には、北マリアナ諸島、グアム、ミクロネシア、パラオが含まれ、マリアナローターアクトクラブからも6名のメンバーが来ました。このクラブの会長はアイリーンという女性でパナーの交換をしました。中央大学のローターアクトクラブのメンバーが多く、現在地区では大学のローターアクトは、中央大学、青山学院大学、清泉女子大学の3つにあり、帝京大学等他大学にもローターアクト設立を進めているそうです。都会では大学がいっぱいあり、若い人達がこのように活発に活動しているのを見て、うらやましく思いました。今回来たメンバーは今年入会した学生が多いということで、1年生たちがくりこま高原駅に着いたあとに佐沼に来ました。この後平泉に行き、米谷の民宿で1泊し、次の日南三陸町の海岸の掃除をして帰るということです。お土産にペーパーウェイト、お菓子や活動報告書をいただきましたので廻します。1

時間位でしたが、通訳をしていただきながら楽しく交流を致しました。

幹事報告 岩渕正彦幹事

- ・ガバナー事務所より 6月のレート 1ドル=102円
- ・登米市民生活部・環境課より
 26年度登米市環境市民通常総会開催の案内
 日時 6月7日(土) 14:00~
 場所 登米市役所南庁舎2階、大会議室
- ・ボーイスカウト第一団より
 26年度育成会総会開催の案内
 日時 6月15日(日) 15:00~
 場所 迫公民館
- ・RIへの半期報告書提出のため、会員の名前のローマ字表記を確認しますので、各自お知らせ下さい。

今週のスピーチ

「台湾の簡単な歴史」 江川元徳会員
 台湾の地形は「さつまいも」に似ているので台湾人は自称「甘藷仔」と言っています。別称として「福爾摩沙(フォルモサ)」があります。16世紀半ば、台湾沖航海中のポルトガル船のオランダ人航海士がその美しさに感動して「Ilha Formosa (美しい島)」と呼んだことがこの別称の由来で、Formosaは現在もついています。とくに欧米でつかわれています。他に、中華民国(Republic of china)、自由中国(Free china)、中華民国在台湾(Republic of china)、中華台北(China Taipei)がありますが、とても違和感があります。日本では、高山国、高砂、高砂国とも呼んでいます。

地質学的には、300万年~1万年前の氷河期に台湾は中国大陸と地続きであったが、いつ頃分離したかは不明です。

旧石器時代晩期(5万年~1万年前)に人類が居住していたことが確認されました。台湾最初の文化、長浜文化(台東県長浜郷の八仙洞遺跡)。大量の打製石器及び骨角器が発掘される。

新石器時代及び金属器時代に南島語系民族が居住していたことが確認されました。台北県八里郷の大空文化、十三行文化、台北盆地の円山文化、植物園文化、台東県の卑南文化です。出土品の中に島外からの貨幣なども含まれており、台湾と外部との往来が傍証、現在の原住民が台湾定住前、別の族群が居住していた可能性がある。

16世紀の明朝時代、倭寇の活動が活発になり台湾も彼らの拠点の一つになる。ヨーロッパ人も多数来航。しかし、史上最初に台湾島を領有したのは17世紀初頭成立したオランダの東インド会社で、1624年現在の台南市周辺を中心とした地域を制圧し要塞を築いた。一方、北の淡水、基隆一体はスペインの勢力が強かった。1642年東インド会社はスペイン勢力を台湾から追放し、福建、広東から漢人移住民を労働力として土地開発をすすめた。

1644年、李自成の反乱により明朝が滅亡し、中国に満州族の清が進出する。これに対し、明朝の皇族、遺臣達は反清復明を旗揚げ、清朝への反攻を繰り返した

が、力不足のため失敗。その時、もう一つの反清復明の勢力である鄭成功の軍勢は清への反攻の拠点を確保のため、1662年東インド会社を台湾から駆逐し、初めて漢民族によって台湾が統治された。鄭の父は海賊、母は日本人で、清との戦いに際し江戸幕府に支援を申し入れたが、江戸幕府は鄭の勝利が厳しいと判断したので支援は実現しなかった。鄭成功は1662年に死去、息子の鄭経が跡を継ぎ反清復明を継続したが、1683年清に降伏、鄭氏は3代21~23年間で終了する。

当初、清朝は台湾島を領有することに消極的で台湾を化外の地「皇帝の支配する領土ではない」「中華文明に属さない土地」とし、特に原住民を化外の民と決めるなど、清の皇帝は台湾に対しあまり大事にしなかった。そういう中、1871年宮古島島民遭難事件が起こった。日本政府は清朝に嚴重抗議をしたが原住民は化外の民という返事があり、清朝政府は管轄外として拒否した。

1874年、清が無関心の態度をとっていたので、日本による台湾出兵(牡丹社事件)が起こった。1884年~1885年清仏戦争の際、フランスの艦隊が台湾北部を攻略、これに伴い、清朝は日本や欧州列強の進出に対する国防上の観点から、台湾の重要性を認識し、防衛強化のため、巡撫(知事)を派遣、福建から分離、台湾省を新設し、本格的に統治する。1887年基隆~台北間に鉄道を敷設。

— 牡丹社事件、日本統治時代等スライドにてスピーチをしていただきましたが、紙面の都合上割愛させていただきます。

◎第2750地区ローターアクトクラブが表敬訪問

日時 5月25日(日) 12:45~14:30

場所 ホテルサンシャイン佐沼

2750地区から23名、当クラブから7名が参加した。



パナー交換(マリアナローターアクトクラブと)



参加者全員で記念撮影